

資料3
令和2年8月28日
第22回
供用適性評価規格委員会

供用適性評価規格委員会 技術基準整備3ヶ年計画(令和2年～令和4年度)

※技術基準作成基本方針では、3ヶ年計画を作成することとなっているが、技術基準の見直し自体は5年ごととなっていることから、5年分の計画を示している。

		R2FY (2020FY)	R3FY (2021FY)	R4FY (2022FY)	R5FY (2023FY)	R6FY (2024FY)	法律、省令、 告示の 根拠、指定	最新版	技術基準見直し概要
供用適性評価分野									
1	「KHK/PAJ/JPCA S 0851(2014) 高圧ガス設備の供用適性評価に基づく耐圧性能及び強度に係る次回検査時期設定基準」の見直し							認定内規 2014	2014年4月18日 改正 2015年10月5日 2014年版が国の認定内規に引用(2009年版を置換) 次回5年見直し:2020(令和2年)度 改正予定
	評価区分Ⅱの減肉評価法を含む供用適性評価基準の高度化検討								主に以下の技術的事項の取り込み等について、2018年度から高度化検討分科会を設置し、改正案を作成中である。 随時、委員会にて改正案の審議を行う予定である。 ① 評価区分Ⅱの減肉評価法の取り入れ ② 溶接補修後の耐圧試験の要否等に関する規定の見直し・高度化 ③ き裂状欠陥評価法第2段階評価(HPISZ101-2)の追加導入
2	KHK/PAJ/JPCA S0851(2014)の解釈(Interpretations)							-	必要に応じて随時検討・発行

2020年の改正が遅れた場合の予備年。
2020年に改正が完了した場合には2024年改正に向けた活動を開始予定。

備考
・本計画は全体で5ヶ年計画を示しており、黄色線は3ヶ年で灰色線は残りの2ヶ年を示しております。